



## 主催挨拶



小松電機産業株式会社 人間自然科学研究所 代表 小松昭夫

1945年7月29日ポツダム宣言黙殺報道を受け8月6日広島・9日長崎に原爆投下、戦時資料焼却命令を出し、15日昭和天皇の終戦放送がされました。そして9月2日、100年前にペリー提督が掲げた星条旗を掲げ、東京湾に入港した米戦艦ミズーリ号上で日本は降伏文書に調印、8000万人(民間人5500万人、軍人2500万人)という史上最大の犠牲を出した第二次世界大戦(中国では15年戦争)が終わり、日本は米国を中心とする連合国に占領されました。その後、1950年始まった朝鮮戦争中の1951年サンフランシスコ講和条約に調印、独立。日本を含む旧枢軸国を対象にした敵国条項の入った国連憲章(1945年10月発効)を受け入れ、1956年国連に加盟、現在に至っています。その後、東西冷戦下の高度経済成長という繁栄もありましたが、日本は人類史的激動期と、問題が複雑に絡み合った衰退期と、近隣諸国との歴史問題が重なり、難しい状況になっています。

また、島根県は1966年、県庁所在地松江市の10キロ圏内に原子力発電所を誘致、日本最大を含む3基共、運転できない状態が続いています。社会の構造的疲弊が、「財政ひっ迫」「中海干拓事業中止と大橋川開削」「竹島の日制定」「公共施設の陳腐化、利用者の減少」等を生み、文化・政治・経済の活力が低下、急激な人口減少を招き、閉そく感が漂っています。

一方、ギリシアで小泉八雲の「開かれた精神OpenMind」がよみがえり、出雲大社の遷宮・慶事、錦織圭選手の活躍、錦織良成監督とEXILETRIBE HIROが創る映画「たたら侍」への期待も高まり、松江・出雲に注目が集まっています。

日本と朝鮮半島は、核大国の米国・中国・露国の地政学的結節点にあります。安倍内閣の掲げている「積極的平和主義」「地方創生」「女性の活躍」の議論から新しい時代が生まれる可能性がでてきました。これには中小企業の自律的再生と、国民の気づきが必要不可欠です。

当社が市場創造したシートシャッターも大手の参入が進み、全国・世界に広がり市場が急拡大しています。また、松江発のRubyで開発したクラウド総合水管理システム「やくも水神」も、「次世代の社会インフラ」として野村総合研究所が2010年、東京国際フォーラムで2700人を前に発表、採用自治体が国交省の成功モデルになり、本格的な普及期を迎えています。

やくも水神の原点「水の偉人・周藤彌兵衛翁」の大銅像を日中戦争の激戦地山東省で制作、8月1日「水の日」に松江市八雲町に地元の協力を得て建立しました。そしてカーネギー財団、オランダの芸術家ロレマさんの協力を得て、小説「武器を捨てよ」「空の蛮行」で100年前に世界大戦を強く警告した、女性初のノーベル平和賞受賞者ベルタ・フォン・ズットナー像建立活動を始めました。ヨーロッパでの支援者であるイップ常子さんは、東京、広島、神戸、京都名古屋で公演されたオーストリア政府企画によるズットナーの演劇「情熱に燃える魂」に参加されました。

このシンポジウムをきっかけに、「国際平和センター・国民国連」構想(2009年北京、2014年ウィーンで発表)が、長崎大学核兵器廃絶研究センターの「北東アジア非核兵器地帯構想」マララ・ユスフザイさんのノーベル平和賞受賞などを追い風に、出雲から世界に広がることを祈っています。

皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

## 周藤彌兵衛翁銅像



2014年8月1日 松江市八雲町親水公園 周藤彌兵衛翁大銅像除幕式

1994年、人間自然科学研究所を設立、「一村一志」運動を始め、郷土の水の偉人の小説・児童文学・漫画の出版、シンポジウム開催、テーマ曲制作、合唱コンクールなどが行われてきました。

また、2002年日中国交正常化30周年記念事業として、日中戦争の激戦地中国山東省で孔子、孟子、周藤、清原の4体の銅像を制作しました。山東省棗荘市台兒荘は、第2次世界大戦中、米国から兵器を提供された国民党と共産党の国共合作で、陸軍第63連隊(島根・鳥取・広島・岡山)が大打撃を受けた地です。

この地で再び、周藤翁の大銅像を制作、本年6月に完成し、日本の水循環基本法成立後初の「水の日」8月1日に、島根県松江市八雲町に建立しました。銅像設置に合わせ、伝統工芸の陶器、漆器(八雲塗)、織物等と新素材を組み合わせ、発達障がい児と共同制作、新産業創造にも取り組んでいます。八雲町「めだか論語普及会」から始まった論語の素読会は、現在、島根・鳥取で20か所を超えています。



剣山切通し(松江市八雲町) - - - 剣山の最初形 - - - 削岩範囲

## 「国際平和センター」構想

琉球王国と呼ばれた沖縄は、ナポレオンの逸話にも残っている、武器の代わりに三味線を持つ「平和の島」でした。

400年前の薩摩藩侵攻、明治政府による琉球処分、また太平洋戦争末期沖縄戦で20万人の犠牲を出し、「被害の島」に。その後、朝鮮半島、ベトナム、イラク、アフガンへの米軍前線基地として「加害・被害の島」に変わってきました。

この島に世界の賛同を経て、人類の未来を拓く「国際平和センター」を創設し、「人類進化発祥の島」とする構想です。

「国際平和センター」は、次の3つの主要施設により構成されます。

(1) 世界戦争平和映像センター  
世界の戦争・平和博物館を情報技術通信(ICT)で結び、写真・映像・音響・芸術で総合的に学ぶことができ、世界の戦争・平和博物館の入り口の役割を果たす、人類進化センター。

(2) メモリアルタワー  
世界の近代戦争すべての戦没者数、名前、写真、経歴を電子データを遠隔から永遠に記録、閲覧できるメモリアルタワーを建設。

(3) 和の殿堂  
共感の場を作り、対立、統合、発展が循環する「和の文化」を生み出す「殿堂」を最先端の科学技術とICTを生かし建設。平和会議、平和貢献者への顕彰、「知のオリンピック」などを開催。

- |    |         |           |
|----|---------|-----------|
| 韓国 | ① 1997年 | 独立記念館     |
|    | ② 2005年 | 安重根義士記念館  |
|    | ③ 2005年 | 西大門刑務所歴史館 |
| 中国 | ④ 2001年 | 抗日戦争記念館   |
|    | ⑤ 2014年 | 抗日戦争記念館   |
|    | ⑥ 2005年 | 南京大虐殺記念館  |



2009年ロシア  
⑦ ハバロフスク 第2次世界大戦慰霊碑  
⑧ ハバロフスク 平和慰霊公苑  
⑨ ウラジオストク 戦争体験者との意見交換会

2005年アメリカ・ハワイ  
⑩⑪ アリゾナ記念館  
⑫ ミズーリ号艦上

## 「国民国連」構想

人間自然科学研究所は、2008年12月中日韓英4か国対訳の『中国古典名言録』の出版に合わせ、北京で「国民国連」の試案を発表しました。

現在の国連は193カ国の「政府代表」で構成され、常任理事国を含む大国主導で運営されています。「国民国連」は、人類の特性を深く考察、歴史的経緯と現実を直視、論理的討議を通じて、よりよく生きられるストーリーを生み出す「国民代表」で構成される集団です。

中国の「和諧」、出雲で生まれた「和譲」、韓国の「和諍」「オウトピア」、米国の「スマートパワー」、朝鮮の「主体思想」などを考察、教養・芸術・イノベーションをユーモアで組み合わせ、「和の文化」が生まれる「場」が「国民国連」です。

